

# 令和5年住宅・土地統計調査 住宅数概数集計（速報集計）

## 徳島県結果の要約

### 1 徳島県の総住宅数、空き家数及び空き家率等

#### (1) 総住宅数、空き家数及び空き家率

徳島県の総住宅数は389,400戸で、5年前に比べ8,700戸増加しています。

空き家数及び空き家率は、それぞれ82,700戸、21.2%となっており、5年前に比べ8,600戸増加、1.7ポイント上昇しています。

また、「賃貸用・売却用及び二次的住宅を除く」空き家数及び空き家率は、それぞれ47,400戸、12.2%となっており、5年前に比べ8,100戸増加、1.9ポイント上昇しています。

なお、この調査では、空き家を次のとおり区分しています。

空き家の区分	解説
二次的住宅(別荘)	週末や休暇時に避暑・避寒・保養等の目的で使用されている住宅で、普段は人が住んでいない住宅
二次的住宅(その他)	ふだん住んでいる住宅とは別に、たまに(残業時等)寝泊まりしている人がいる住宅
賃貸用・売却用	新築・中古を問わず、賃貸・売却のため人が住んでいない住宅
賃貸用・売却用及び二次的住宅を除く空き家	上記以外の住宅。＜例＞転勤等で家族全員が長期不在の住宅、建て替えのために取り壊す予定の住宅等

表1-1 総住宅数、空き家数及び空き家率  
(平成10年～令和5年)

実施年	総住宅数 (戸)	空き家数 (戸)	空き家率 (%)
平成10年	319,500	40,800	12.8
平成15年	336,300	46,100	13.7
平成20年	355,600	56,500	15.9
平成25年	364,900	64,000	17.5
平成30年	380,700	74,100	19.5
令和5年	389,400	82,700	21.2

図 1-1 総住宅数、空き家数及び空き家率の推移（平成10年～令和5年）

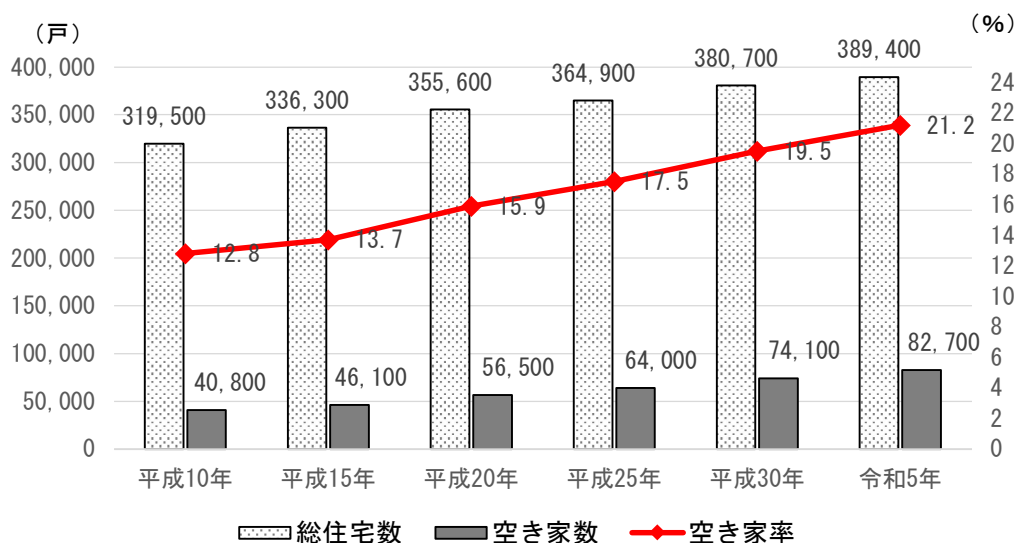
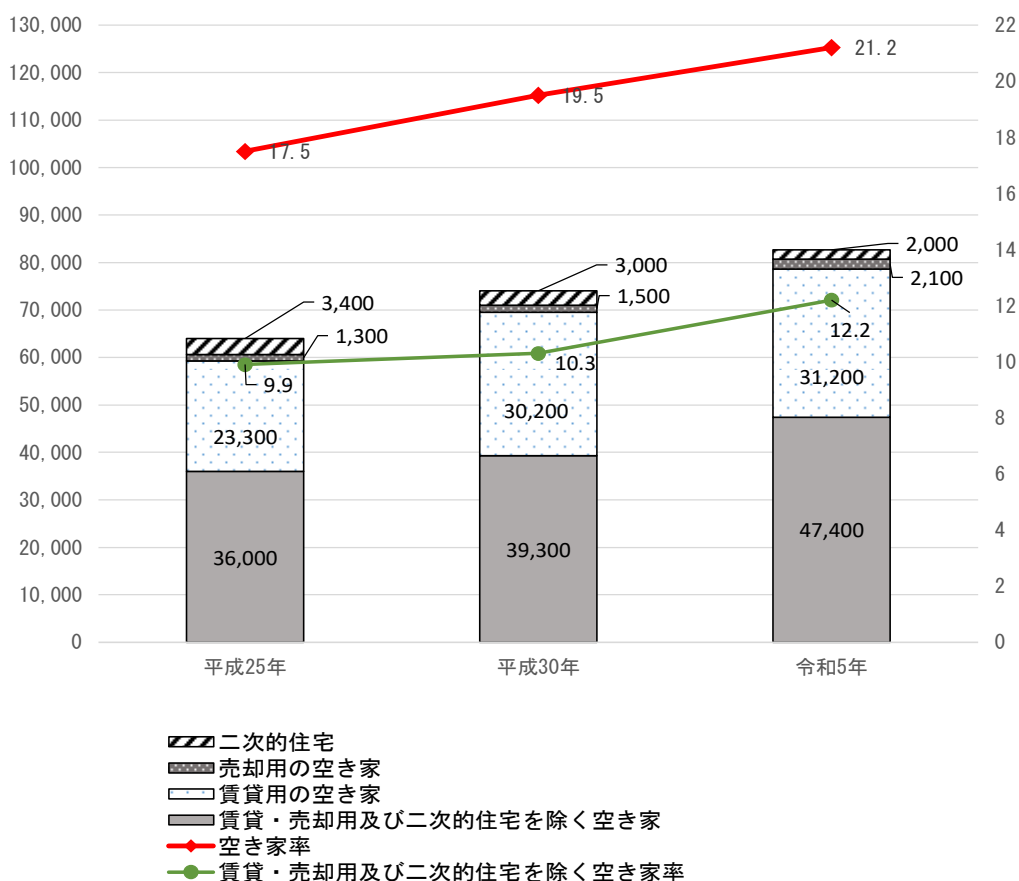


表 1-2 建物の種類別空き家数及び空き家率（平成25年～令和5年）

実施年	総住宅数 (戸)	空き家数 (戸)	賃貸・売却用及び二次的住宅を除く空き家数 (戸)	賃貸用の空き家数 (戸)	売却用の空き家数 (戸)	二次的住宅数 (戸)	空き家率 (%)	賃貸・売却用及び二次的住宅を除く空き家率 (%)
平成25年	364,900	64,000	36,000	23,300	1,300	3,400	17.5	9.9
平成30年	380,700	74,100	39,300	30,200	1,500	3,000	19.5	10.3
令和5年	389,400	82,700	47,400	31,200	2,100	2,000	21.2	12.2

図 1-2 空き家数及び空き家率の推移（平成25年～令和5年）



## 2 徳島県の住宅の状況

### (1) 住宅の建て方（一戸建、共同住宅等の別）

居住世帯のある住宅（以下単に「住宅」という。）は、303,600戸となっており、この内訳を建て方別にみると、一戸建は210,800戸で、5年前に比べ5,100戸減少しています。

共同住宅は82,800戸で、5年前に比べ2,300戸増加しています。

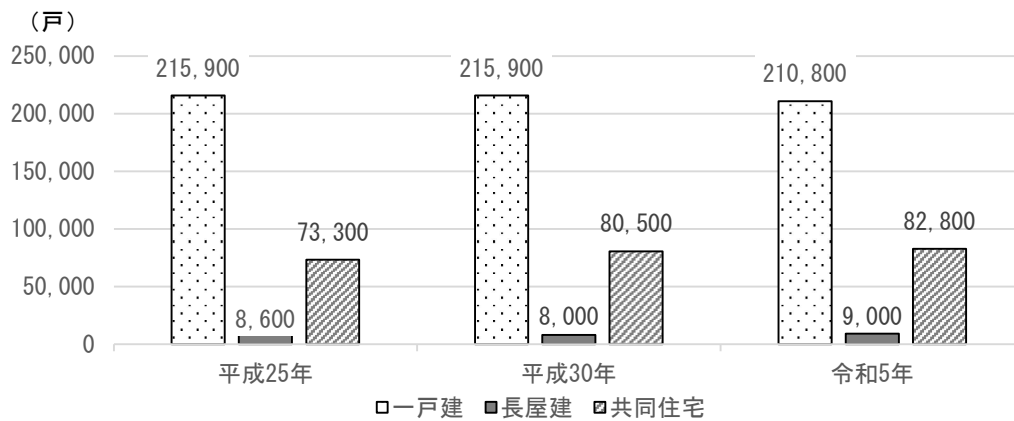
住宅全体に占める共同住宅の割合は27.3%で、5年前に比べ0.9ポイント上昇しています。

表2-1 住宅の建て方別住宅数（平成25年～令和5年）

単位：戸

実施年	住宅数	一戸建	長屋建	共同住宅	その他
平成25年	298,800	215,900	8,600	73,300	1,000
平成30年	305,300	215,900	8,000	80,500	900
令和5年	303,600	210,800	9,000	82,800	800

図2-1 住宅の建て方別住宅数の推移（平成25年～令和5年）



### (2) 住宅の構造（木造、非木造の別）

木造のものは192,300戸で、5年前に比べ8,700戸減少しています。

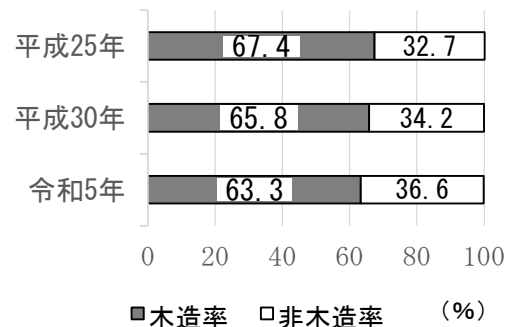
非木造のものは111,200戸で、5年前に比べ6,900戸増加しています。

表2-2 住宅の構造別住宅数  
（平成25年～令和5年）

単位：戸

実施年	住宅数	木造	非木造
平成25年	298,800	201,300	97,600
平成30年	305,300	201,000	104,300
令和5年	303,600	192,300	111,200

図2-2 住宅の構造別割合の推移  
（平成25年～令和5年）



また、住宅の構造を建て方別にみると、一戸建は木造が 177,200 戸 (84.1%) で、5 年前に比べ 10,300 戸減少しています。

長屋建は木造が 4,500 戸 (50%) で、5 年前に比べ 200 戸減少しています。

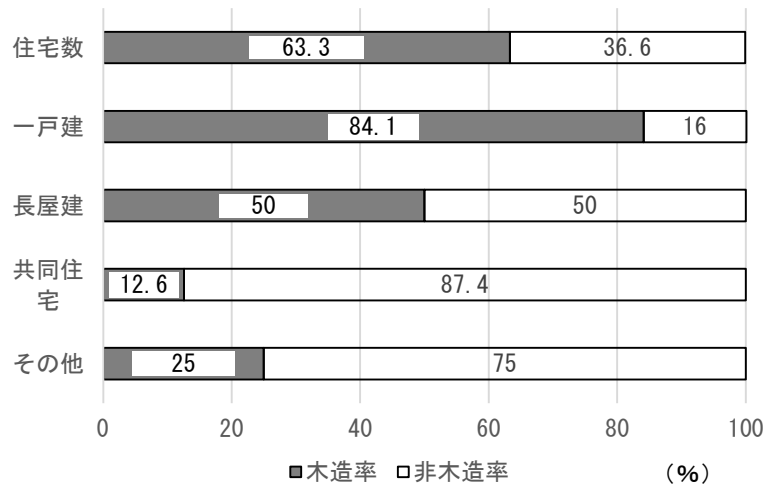
これに対し、共同住宅は非木造が 72,400 戸 (87.4%) で、5 年前に比べ 400 戸増加しており、建て方により構造が大きく異なっています。

表 2-3 住宅の建て方、構造別住宅数  
(平成 25 年～令和 5 年)

単位：戸

実施年	総数	木造	非木造
平成25年			
住宅数	298,800	201,300	97,600
一戸建	215,900	188,700	27,300
長屋建	8,600	5,000	3,700
共同住宅	73,300	7,300	66,000
その他	1,000	200	700
平成30年			
住宅数	305,300	201,000	104,300
一戸建	215,900	187,500	28,400
長屋建	8,000	4,700	3,300
共同住宅	80,500	8,500	72,000
その他	900	300	600
令和5年			
住宅数	303,600	192,300	111,200
一戸建	210,800	177,200	33,700
長屋建	9,000	4,500	4,500
共同住宅	82,800	10,400	72,400
その他	800	200	600

図 2-3 住宅の建て方、構造別割合 (令和 5 年)



### 3 住宅・土地統計調査の概要

#### (1) 調査目的

我が国における住宅等に関する実態及びこれらに居住している世帯に関する実態を調査し、その現状と推移を全国及び地域的に明らかにすることにより、住生活関連諸施策の基礎資料を得ること。(国や地方公共団体における「住生活基本計画」、耐震や防災を中心とした都市計画策定、空き家対策等を中心に幅広く利用されている。)

#### (2) 位置づけ

統計法 (平成 19 年法律第 53 号) に基づく基幹統計調査

#### (3) 調査期日

令和 5 年 10 月 1 日 午前零時現在

#### (4) 調査対象

住宅及び住宅以外で人が居住する建物並びにこれらに居住している世帯  
徳島県内約 22,000 住戸・世帯 (全国約 340 万住戸・世帯)

#### (5) 調査事項

- ア 住宅に関する事項  
居住室数及び広さ、所有関係、構造、床面積、建て方 等
- イ 世帯に関する事項  
世帯の構成、年間収入、通勤時間、入居時期、住環境に関する事項（安全性、  
快適性等） 等
- ウ 現住居の敷地に関する事項  
所有関係、敷地面積 等
- エ 現住居以外の住宅及び土地に関する事項
- オ 建物に関する事項  
建て方 等

注 統計表の数値は、表章単位未満の位で四捨五入しているため、総数と内訳の合計は必ずしも一致しない。